

議 事 録

会 議 名 称	令和4年度 第2回 固定資産評価審査委員会
日時及び場所	令和5年3月24日(金) 9:50 ～ 10:30
出 席 者	固定資産評価審査委員会：委員3名（委員長、委員2名）事務局1名 税務課長 評価補助員2名（税務課員）
内 容	定例会（後期）

1. 開会

2. あいさつ

【委員長】 令和4年度2回目の定例会ということでお忙しい中お集りいただきありがとうございます。令和4年度も残すところあと1週間程となりました。今年度も審査申出はありませんでしたが、コロナの影響で研修事業も3年連続で中止という結果でした。事務局には資料を取り寄せていただきありがとうございました。今後の参考とさせていただこうと思います。本日は町内の固定資産の状況等について説明をよろしくお願いします。

【税務課長】 町長所用のため、代わりに挨拶をさせていただきます。まずはコロナの関係で、役場でのマスクの取り扱いについてですが、来庁者の方は個人の判断ではずしていただいて結構で職員については着用するという事になりましたので報告いたします。

また、この度機構改革が行われまして、来年度以降は当委員会の所管部署を総務課へ移すこととなりました。固定資産評価を行うのはこれまでどおり税務課ですので、あくまで事務局が移管されるということになります。

本日は委員長のご挨拶にもありましてとおり、令和4年度及び5年度の町内における固定資産の状況等について説明させていただきますのでよろしくお願いします。

3. 議事

（1）令和4年度固定資産税の申し出等による修正状況について

【評価補助員】 ・3期分、4期分の課税修正について説明

（2）令和4年度、5年度固定資産評価状況（見込）について

【評価補助員】 ・土地について説明
（令和5年度については評価替え年度ではないため概ね4年度と変わらないが、全体の評価額が1％程度上昇している理由としては、浦富地内を中心とした宅地造成により農地等から宅地・宅地並み雑種地への地目変更が要因となる。その他の異動として、農業委員会の非農地調査による原野・山林への地目変更について説明。）
・家屋について説明
（令和4年中の木造新築物件数は昨年に引き続き高い数値であった。そのことが要因となり、令和5年度の総評価額も約3.5％の増加が見込まれる。地区別の内数等説明。令和4年中の新築の傾向としては大岩地区の新築が多かった。）
・償却資産について説明
（総務大臣配分については通知前のため、同値として見込むと課税対比99.99％となる見込。）

【事務局】 質疑等あればお願いします。
→特になし。

（3）その他

【評価補助員】 ・令和5年1月1日時点の地価公示価格について説明
・令和6年度が評価替年度であり、浦富・新井の一部については約1％程度上昇し、その他の地域においては減少する見込みである旨説明
・令和5年度の地籍調査予定地区について説明

4. その他

【事 務 局】 今説明がありましたが令和6年度が評価替年度ですので、その時には不動産鑑定価格を基に町内の多くの地域で評価額の変動が見込まれます。その場合、皆さんご存じのとおりではありますが、審査申出の対象となります。申出があるかは分かりませんがその時にはよろしくお願いします。

令和5年度の固定資産評価審査委員会の研修についてですが、7月から9月頃にオンラインで開催される予定ということです。自宅でご覧いただくこともできますが、せっかくですので皆さんお集りのうえ見ていただく、という開催方法はいかがでしょうか。

【委 員 長】 集ってみるということでいいと思います。

【委 員】 それでいいと思います。

【事 務 局】 承知しました。

【委 員 長】 研修の所要時間は分かりますか。

【事 務 局】 まだ詳細の連絡は来ていませんが、以前の会場開催の研修の場合でしたら、午前10時から午後3時くらいまでだったように記憶しています。

【委 員 長】 了解です。

5. 閉会